草筆畫譜　三編

214

錦昇堂梓

草筆画譜 三編

廣重筆

一冊

草筆画譜叙文

近世京絵かきて画家の所謂四条派と称るもの多くて應挙呉春文鳳等の画風をみて土佐派よりはなれ漢画の骨法を遁りて土佐の実を求め狩野家の諸法を極めて別に一家をなす何れの倭画師まゝもあらんかし皆丹青の達人海内

尓雷名まするとものゝみえさるに江戸画流し
愚按するに元禄三年の印本東海名寄
合間絵図に大津大谷の辺に仏画総
ゆさく家ありしも此画譜の署
州筆の二字あつて粗その銘并川
豊廣も初代豊春の門下にありて
其一蝶の門流あり其数多あり
の名中に外にきこえし一立斎の世に
廣重ちかごろまかりし州筆画譜の
端出よりも[illegible]ありや画の[illegible]に[illegible]
して三編まつりて世の間に紀[illegible]

京橋市隠
南仙笑楚満人謹識

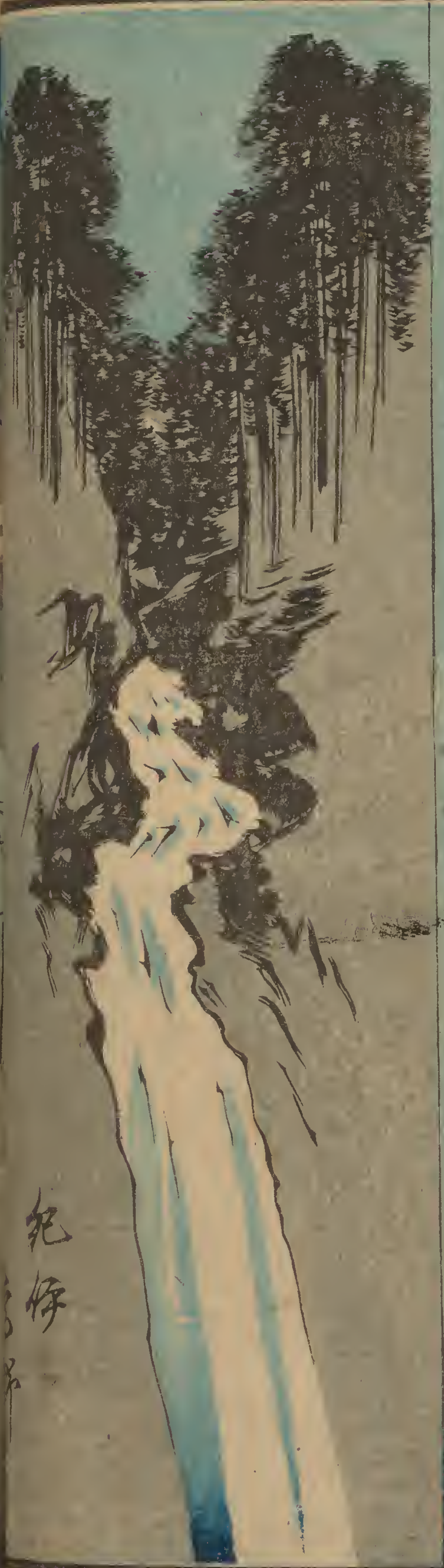
石山式部

須磨

三保の松原

武蔵
調布

摂津
擣衣

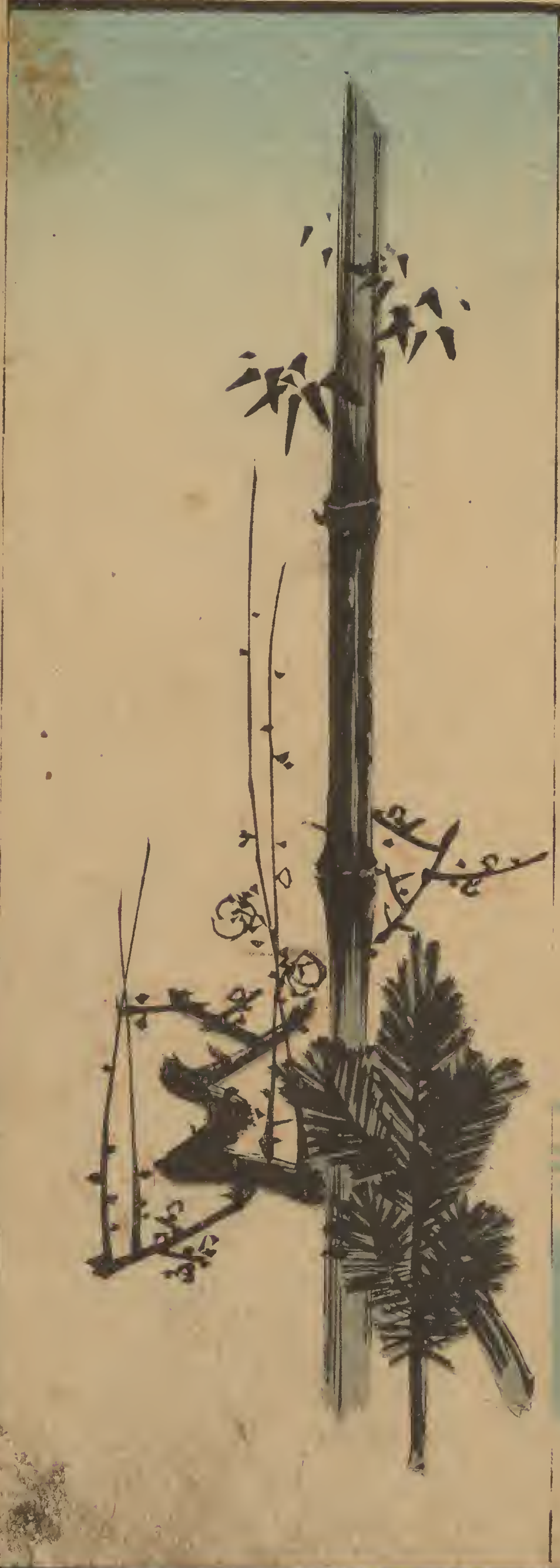

紀伊

諸国六玉川
山城井手

陸奥野田

近江野路

高砂



福神趣

昔咄 花咲爺ゝ
狸汁
舌切雀
茂林寺
猿蟹

竹取翁

桃太郎

狐嫁入

備前
怡然岩

日本堤

小金原

隅田堤

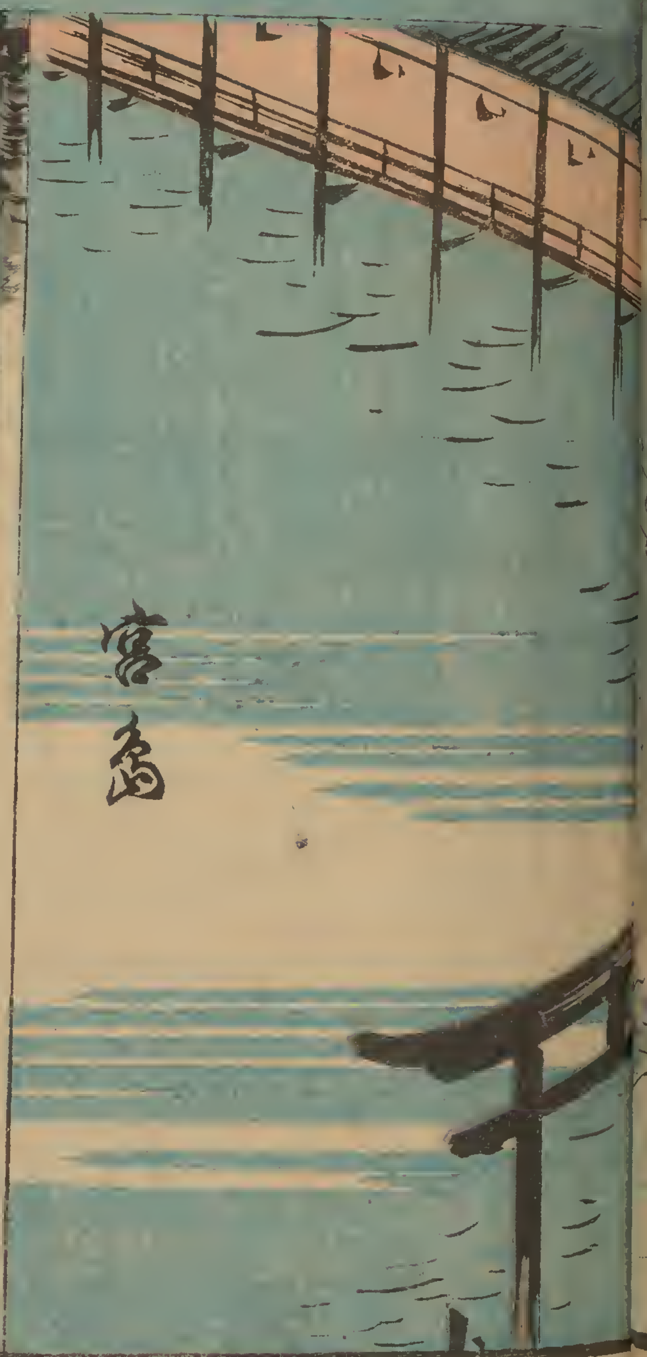
房州
小湊

嵐山
吐月橋

杉田八幡

地引綱

天橋立


宮島

春日山

本牧
十二天

房州
清澄山

美濃

信濃更科
田毎月

荒礫風景

烟村孤舟

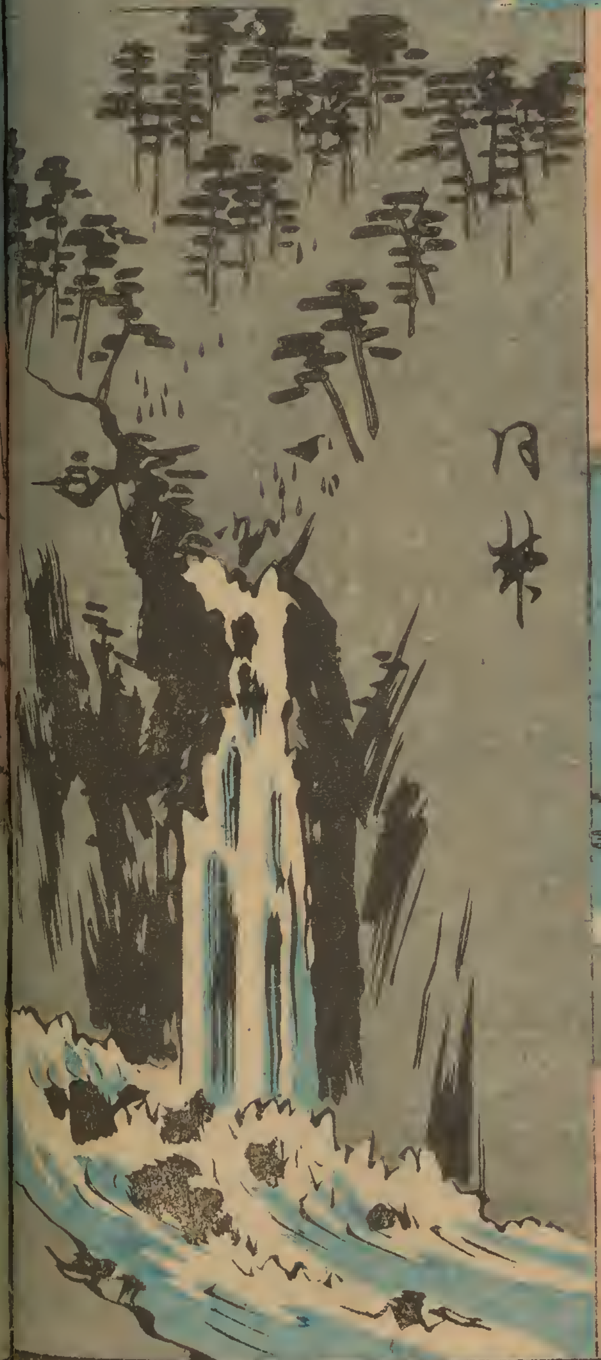
船帆

杉梅

吉原

隅田川

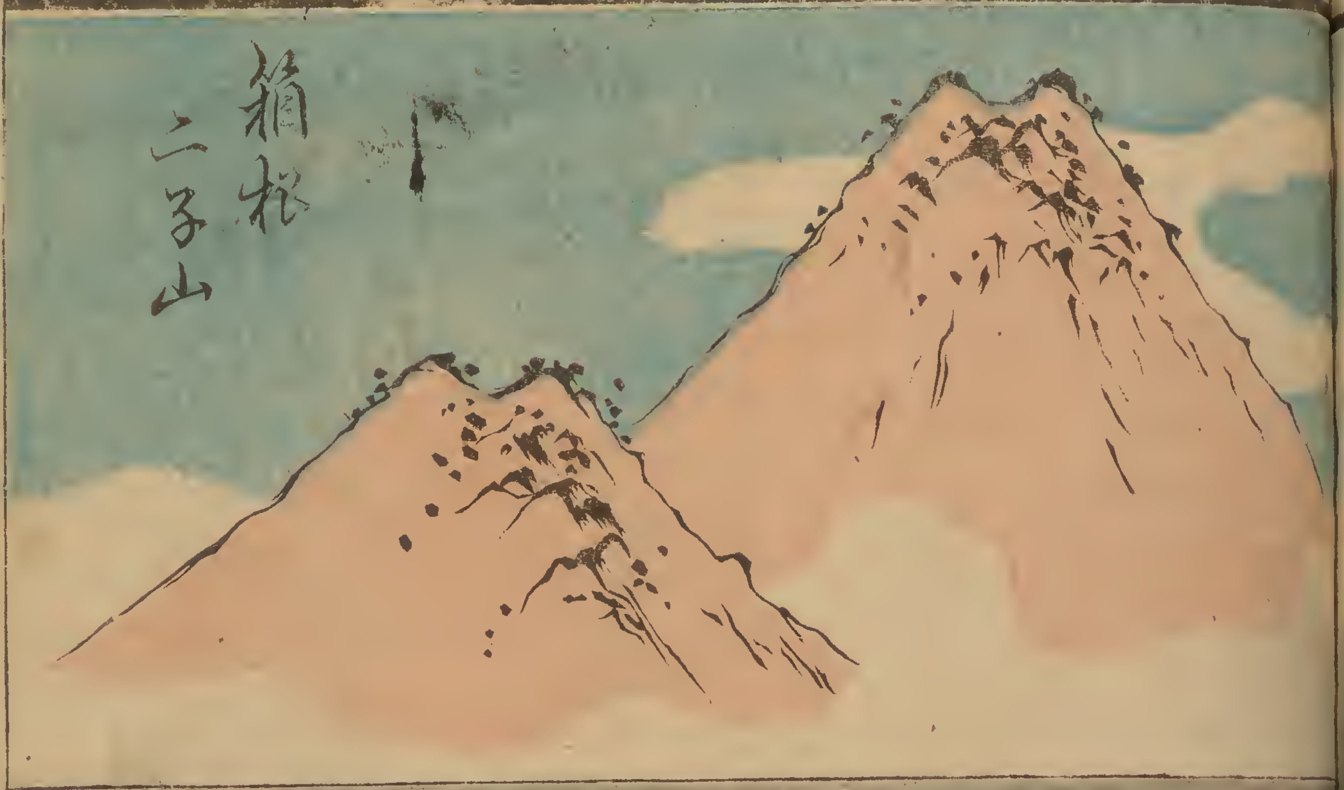
上総
天神山



上総國
鹿埜山
鳥居崎

上毛中ノ嶽

上毛榛名山

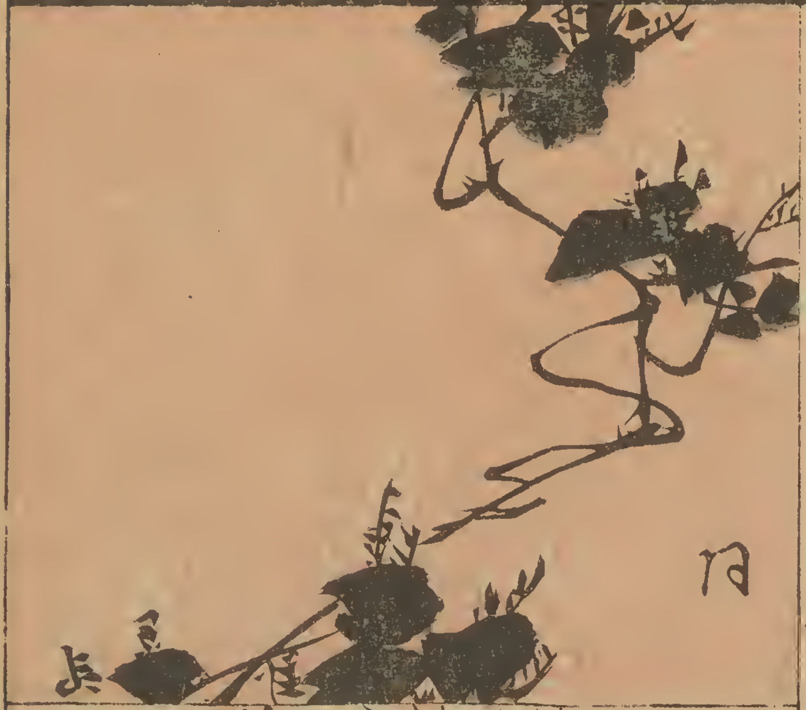

箱根
二子山

時鳥

三股の雁

須磨の雁

蝙蝠



たこ

鯛
さくら

瀧門の鯉

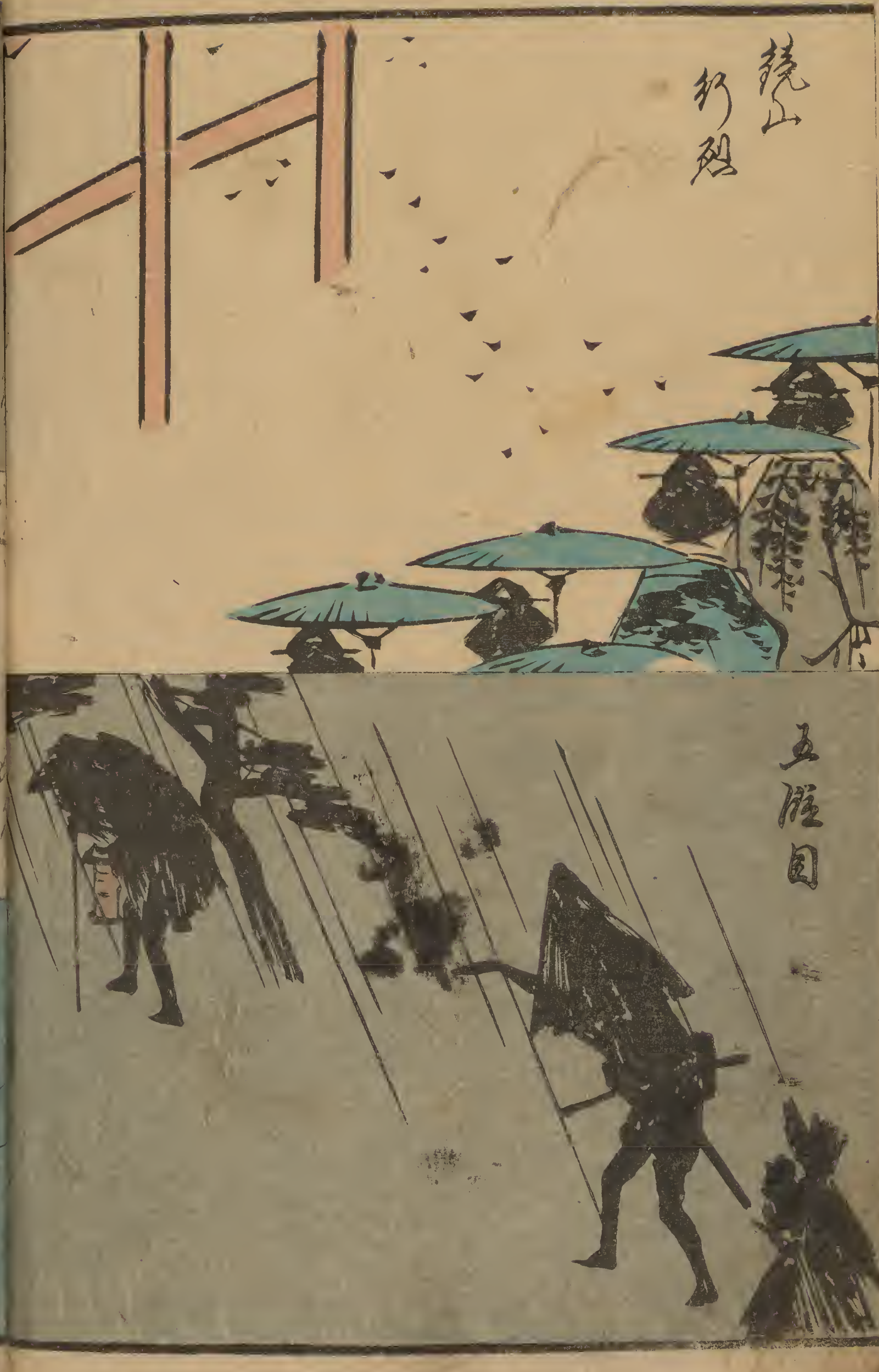
手代能

古代廓通

廿二

浄瑠理

翡翠
鶺鴒


鏡山

靭猿
萬歳
正月物

207
4.00

Hiroshige
Ichitsuguau

玄魚

実入よき
かしら
押へふし
稲の出来

廣重筆